

総務文教委員会

平成29年8月31日（木）

日 時 平成29年8月31日（木）午前10時00分開会—午後1時37分閉会

場 所 役場3階 第2委員会室

出席委員 小川委員長、竹原副委員長、坂原、辻下、道工、反保、出口

欠席委員 田島委員

傍聴議員 和田、奥野、中原

出席理事者 田代町長

中口副町長

松田副町長

笠間教育長

保井まちづくり戦略室長兼町長公室長

西総務部長

四至本財政改革部長

竹下教育委員会事務局教育次長

佐藤総務部理事兼財政改革部理事兼まちづくり戦略室理事

川端危機管理監兼危機管理担当課長

松井総務部副理事兼総務課長

寺田総務部副理事兼企画地方創生課長

相馬財政改革部副理事兼財政課長

阪本財政改革部副理事兼行政推進課長兼税務課長

廣田人事担当課長

竹本秘書担当課長

福井人権推進課長

澤学校教育課長兼指導課長

松下生涯学習課長兼青少年センター所長

増田会計管理者

鈴木議会事務局総務課長

案 件

（1）付託案件について

(午前10時00分 開会)

小川委員長 ただいまから、総務文教委員会を開会します。

本日の出席委員は7名、欠席委員1名、田島委員が欠席です。

理事者については、全員出席です。

定足数に達しておりますので、本委員会は成立しました。

これより総務文教委員会を開きます。

携帯電話のほう、よろしくお願いします。

8月24日の本会議において、本委員会に付託を受けました案件9件の審査を行います。

それでは、これより議事に入ります。

発言者については、マイクのスイッチを入れて、所属部署、氏名を言ってからお願いします。

議案第48号「平成29年度岬町一般会計補正予算（第3次）の件」のうち、本委員会に付託された案件について、議題とします。

本件について、担当課から説明を求めます。

寺田課長。

寺田企画地方創生課長 それでは、総務文教委員会資料の1ページをごらんください。

平成29年度岬町一般会計補正予算（第3次）のうち、総務文教委員会に付託された歳入歳出予算について、ご説明いたします。

まず、歳入予算について、ご説明いたします。17寄附金、1寄附金、岬ゆめ・みらい寄附金といたしまして120万円の増額補正を行うものです。内容としましては、多目的公園に進出いただいております、株式会社ユーラスエナジー岬様より、今年度も寄附の申し出がありましたので、新たに予算措置するものです。

相馬財政課長 次に、18繰入金、1基金繰入金、財政調整基金繰入金といたしまして4,505万2,000円の増額補正を行うものでございます。内容としましては、本補正予算編成に必要な財源を計上するものでございます。

寺田企画地方創生課長 18繰入金、1基金繰入金、岬ゆめ・みらい基金繰入金といたしまして、補正予算額4,006万5,000円を増額補正するものです。

内容につきましては、歳出でご説明いたしますが、基金を財源として実施する、ふるさと応援事業のうち、謝礼品の購入に必要な経費を基金から繰り入れするものと、大阪府立大学と連携して実施する留学生交流事業の財源に充当するため、新たに予算措置するものです。

澤学校教育課長 続きまして、2特別会計繰入金、深日財産区特別会計繰入金としまして426万円の増額補正を行うものです。内容としましては、歳出でご説明させていただきますが、深日小学校トイレ改修工事に充当するものです。

松井総務課長 続きまして、同じく２特別会計繰入金、多奈川財産区特別会計繰入金としまして８５万４，０００円の増額補正を行うものです。

内容につきましては、歳出でご説明させていただきますが、集会所整備事業費の西集会所フェンス取替工事にかかる経費に充当するものでございます。

相馬財政課長 続きまして、１繰越金、１繰越金、前年度繰越金といたしまして５６６万４，０００円の増額補正を行うものでございます。

内容といたしましては、平成２８年度決算の確定に伴い当初予算との差額を計上するものでございます。

以上、当委員会付託分、歳入合計といたしまして９，７０９万５，０００円の増額補正を行うものでございます。

鈴木議会事務局課長 続きまして、歳出です。委員会資料の２ページをごらんください。

１議会費、１議会費、議会運営費としまして１２１万６，０００円の増額補正を行うものです。

内容としましては、北海道芽室町、浦幌町、鹿追町へ議員視察研修に行く宿泊及び航空運賃等の費用弁償として８１万１，０００円、事務局職員の特別旅費として１３万６，０００円、現地でのバス借上料として２４万９，０００円、高速道路使用料として２万円の、合計１２１万６，０００円の補正をするものです。

廣田人事担当課長 ２総務費、１総務管理費、臨時職員管理費としまして１，００１万５，０００円を増額補正するものです。

内容としましては、公的年金制度の持続可能性の向上を図るための国民年金法等の一部を改正する法律の成立により、年金機能強化法が改正され、本年４月からの短時間労働者に対する厚生年金保険及び健康保険、いわゆる社会保険の適用拡大により、今まで加入対象外であった短時間労働者も加入が義務づけられたため、該当する臨時職員の共済費の社会保険料に不足を生じるため、今回、増額補正するものです。

同じく総務管理費、一般管理費人件費、再任用職員としまして４２９万２，０００円を増額補正するものです。この部分も短時間労働者に対する社会保険の適用拡大によるもので、該当する再任用短時間職員の共済費の社会保険料に不足が生じるため、今回、増額補正するものです。

同じく総務管理費、政策情報顧問設置費としまして４６万５，０００円を増額補正するものです。この部分も社会保険の適用拡大によるもので、該当する政策情報顧問の共済費の社会保険料を計上し、増額補正するものです。

松井総務課長 同じく１総務管理費、集会所整備事業費としまして１１８万９，０００円の増額補正を行うものです。

内容につきましては、西集会所フェンス取替工事といたしまして８５万４，０００円、下孝子

集会所改修工事としまして33万5,000円の合計118万9,000円です。今回の工事は、地元自治区からの要望で、西集会所の裏と駐車場との境にありますフェンスが支柱の腐食が著しく、金網も破れたままの状態で危険なため、取り替える必要が生じたものです。また、下孝子集会所改修工事は主に台所の床が、歩くとぐっと沈むところが数カ所あり、底が抜ける恐れがあることから、台所の床を改修し、そのほか、玄関ドアの修繕、玄関ポーチ支柱の塗装を併せて実施するものです。

なお、西集会所フェンス取替工事にかかる経費は、多奈川財産区特別会計からの繰入金を充当いたします。

寺田企画地方創生課長 続きまして、2総務費、1総務管理費、ふるさと応援事業といたしまして3,991万8,000円を増額補正するものです。

内容としましては、岬ゆめ・みらい寄附者への謝礼品の購入にかかる経費を補正するものです。ふるさと納税の謝礼品については、総務省の指導もあり、5月1日から謝礼品の返戻率の割合を5割から3割に見直しを行う予定で、6月議会で謝礼品に関連する補正予算を編成させていただきました。事業者との調整やホームページの修正に時間を要したことから、見直しが6月13日からとなり、また、謝礼品見直し前のかけこみによる寄附申込件数も増加したことから、謝礼品の6月補正予算積算時の返戻率3割と、実際の返戻率5割の差額である2割分に当たる調達費用に不足が生じるため、謝礼品購入にかかる経費を新たに予算措置するものです。これらの経費は、全て岬ゆめ・みらい基金繰入金を活用して実施するものです。

保井町長公室長 続きまして、同じく大阪府立大学連携事業といたしまして14万7,000円を増額補正するものです。

内容といたしましては、岬町は大阪府立大学と包括連携協定を平成23年1月に締結しております。今回の連携事業は、大阪府立大学の留学生が小規模校である保育所を併設している多奈川小学校、深日小学校を訪問する留学生交流事業負担金です。留学生が児童と交流し、相互に外部からの刺激を受け、さらに児童は外国の暮らしを知ることで、国際的な幅広い見識を身につけるきっかけとするものです。

主な内容につきましては、9月に留学した約12人が多奈川小学校と深日小学校を訪問し、児童と授業や給食をともにする交流プログラムや1月には餅つきイベントなどに参加し、児童との交流を深めるものです。

廣田人事担当課長 続きまして、2徴税費、税務課人件費、一般職任期付職員としまして122万7,000円を増額補正するものです。この部分も社会保険の適用拡大によるもので、該当する徴税担当の任期付短時間職員3名の共済費の社会保険料を計上し、今回、増額補正するものです。

徴税担当の任期付短時間職員の共済費の社会保険料に不足が生じるため、今回、増額補正する

ものです。

続きまして、2ページ、下段から3ページにかけてですが、7商工費、1商工費、商工総務費人件費としまして、財源内訳のところですが、その他特財85万2,000円を増額し、一般財源から同額を減額する財源更正を行うものです。

内容としましては、道の駅みさきの国受託事業収入の増額計上に伴う財源更正で、増額した特財の人件費充当部分のみ本委員会での補正要求とさせていただいております。なお、ほかの部分に関しましては、事業委員会所管の産業観光課の補正予算要求となりますので、事業委員会でも慎重審議されたと聞き及んでおります。

続きまして、8土木費、4都市計画費、コミュニティバス運行事業再任用職員としまして92万9,000円を増額補正するものです。

内容としましては、この部分も社会保険の適用拡大によるもので、該当するコミュニティバス運行担当の再任用短時間職員2名の共済費の社会保険料を計上し、今回、増額補正するものです。

澤学校教育課長 続きまして、10教育費、2小学校費、小学校改修事業費としまして、485万円の増額補正を行うものです。

内容としましては、淡輪小学校にある遊具のうち、登り棒について、さび等の老朽化が激しく、危険な部分については、既に支柱からアーム部分を取り外した部分もあります。登り棒は小学校学習指導要領の体育の項目の中で、体づくり運動で使用すると記されており、早急に取替工事を行いたく59万円の増額補正を行うものです。

また、深日小学校におきまして、深日保育所トイレ天井部分から漏水があり、トイレの上部に位置する深日小学校1号館2階西側トイレの漏水対策工事を実施するものです。その漏水対策工事に合わせて、老朽化の進んでいるトイレブース等の改修とトイレの一部を洋式化する工事を実施したく、426万円の増額補正を行うものです。

なお、深日小学校トイレ改修工事につきましては、深日財産区特別会計繰入金を充当するものです。

続きまして、要・準要保護児童援助費としまして5万8,000円を増額補正を行うものです。

内容としましては、準要保護扶助費支給額の基準となっている要保護児童・生徒援助費補助金のうち、新入学児童生徒学用品費について、単価改定があり、その改定に合わせて準要保護児童入学用品代の増額補正を行うものです。

同じく3中学校費、準要保護生徒援助費としまして52万4,000円を増額補正を行うものです。

内容としましては、さきの小学校費でも説明させていただきましたが、準要保護扶助費支給額の基準となっている要保護児童生徒援助費補助金のうち、新入学生徒学用品費について単価改定

があり、その改定に合わせて準要保護生徒新入学用品代の増額補正を行うものです。

松下生涯学習課長 続きまして、5 社会教育費、公民館管理費としまして124万4,000円の増額補正を行うものです。

内容としましては、公民館会議室天井部分の雨漏り修繕が12万6,000円、公民館改修工事が111万8,000円です。公民館改修工事の内訳は、公民館2階、3階の男子トイレ、女子トイレの個室のうち、各1カ所についてウォシュレット取付工事と個室ドア破損箇所の修理と3階男子トイレの和式便器から洋式便器への変更工事の合計が71万2,800円、また、公民館屋上部分の会議室雨漏りにかかる防水シート補修工事と談話室窓棚板修繕の合計が28万8,000円、さらに南海電鉄株式会社から公民館駐車場として借り受けしてました土地を平成29年6月30日をもちまして契約満了となったため、返還に際して原状回復作業が必要となり、鉄管柵の撤去等に要する費用12万4,200円です。

寺田企画地方創生課長 続きまして、4ページをごらんください。13諸支出金、1基金費、岬ゆめ・みらい基金費といたしまして、補正予算額120万円を増額補正するもので、内容としましては、株式会社ユーラスエナジー岬様からいただいた寄附金120万円を基金として積み立てるもので、株式会社ユーラスエナジー岬様は多目的公園内で再生可能エネルギー事業、太陽光発電事業を手がけており、地域とともに発展し、社会から信用される企業としてビジョンを掲げております。

寄附金については、基金として積み立てを行い、使途については企業が掲げる地域貢献のための事業として活用させていただく予定です。

以上、当委員会付託分歳出合計といたしまして6,727万4,000円を増額補正するものです。

小川委員長 ただいまの説明に対して、質疑ございませんか。

坂原委員。

坂原委員 ちょっと1点だけ確認させてください。

3ページの10教育費、小学校費ですね。ここで深日小学校のトイレ改修として426万円とあります。学校のトイレの洋式化については、私も一般質問で聞かせてもらいました。また、この件についても、先日、本会議場で、どなたかの質問でありました。ここでお聞きしたいのは、そのときの質問に対する回答の中で、トイレを今回、洋式化するのは2基だとお聞きしたんですけど、これは深日小学校全体では何基あるうちの2基なのか、この2基だけ特に、2基だけというのは、何か意味があるのか、今後で残っているほかのについても、また、洋式化していくのは、どんな計画でいっているのか、その辺ちょっとお聞きしたいんですけど、よろしくお願いします。

小川委員長 澤課長。

澤学校教育課長 ただいまの委員のご質問にお答えさせていただきます。

深日小学校のトイレにつきましては、合計で64基ございます。そのうち率で言いますと洋式便器になっているのは18.8%、和式便器が81.2%ということで、深日小学校につきましては、まだまだ洋式化が進んでいない状態でございます。

今回、なぜ2基なのかということですが、今回、実施する漏水対策工事に当たるトイレの部分について、その対策工事に合わせて同時に一部洋式化を進めていくということで、2基させていただくところでございます。

今後につきましても、まだ、深日小学校につきましては洋式化が、まだまだ進んでおりませんので、計画的に進めていきたいと考えております。

坂原委員 前回の私の一般質問のときの答弁でも、深日小学校は、特に洋式化が遅れているというような答弁でした。なので、今後、その2基と言わずに、どんどん洋式化を、ぜひとも早期に進めていただきたいと、要望で終わります。

小川委員長 反保委員。

反保委員 一つ、ちょっとお聞きしたいと思います。

岬ゆめ・みらい寄附金がたくさん入っておりますけど、今度は謝礼のほうなんですけど、前回もお聞きさせてもらったんですが、謝礼の一番多いのは電気製品だとは聞いておりますが、現在、この謝礼でベスト3をちょっと教えてもらおうかなと思うんですけど、こういったものが謝礼として出ていつているのでしょうか。お願いします。

小川委員長 寺田課長。

寺田企画地方創生課長 謝礼品につきましては、6月13日以降で謝礼品の率の見直しをしております。

いわゆる国の総務省の指導がありまして、謝礼品の率については、5割から3割に落とすという強い指導がございましたので、6月13日以降は3割に見直しをしております。ただ、4月から6月12日までの間に、結構高額な家電製品の人気がございまして、8月、昨日現在ですけど、上位ベスト3について、報告させていただきます。

現在は、今から言う家電品については、謝礼品としては取り扱っておりませんが、ロボット家電「COCOROBO」という掃除機が一番の人気になっています。続きまして、これはちょっと3割の中で実施しているんですけど、ウオーターオープン専用機になります。トースターみたいなものになります。続いて、これも今、謝礼品としては計上しておりませんが、ヘルシオホットクックというのがあります。これが上位、ベスト3の謝礼品になります。

小川委員長 反保委員。

反保委員 ということは家電で統一されているということですか。

小川委員長 寺田課長。

寺田企画地方創生課長 そうです。

小川委員長 反保委員。

反保委員 この5割から3割に変更になるということは、新聞紙上、載っていますけど、これはもう決定されたんですか。もう場所によったら今までどおりやというところもあると新聞では出ていところもありましたけど、

小川委員長 寺田課長。

寺田企画地方創生課長 委員おっしゃいますように、ほかの市町村で高額な謝礼品については、まだ、継続してやっているところもございます。ただ、国のほうから何回も謝礼品の見直しについて、通知が来ておりまして、我々も何とか、ふるさと納税でかなりの額の寄附をいただいておりますので、いわゆる財源として、かなり有効活用させていただいているところですが、全体的な流れから言いましたら、いわゆる謝礼の率を3割にというのが強く要請されておりますので、岬町においても3割にしたという経緯がございます。

小川委員長 よろしいですか。

反保委員 ありがとうございます。

小川委員長 他にございませんか。

辻下委員。

辻下委員 小さい問題やけどね。この集会所管理事業費、これ下孝子集会所改修工事33万5,000円、これは孝子の森林組合には基金はないんですか。

それと、もう1点、淡輪公民館、これは修繕費、雨漏り、公民館改修工事、トイレとか、いろいろとあるけども、淡輪公民館は毎年、出てくるんですわ、金額ね。それをどういう具合に考えているのか。これ担当課から聞いても無駄やと思うんでね。笠間教育長、突然やけども。突然で悪いけど。

小川委員長 辻下委員、最初の質問から。

辻下委員 孝子森林組合は、どうなっているの。

小川委員長 森林組合の孝子の改修の件、どなたが。

松井課長。

松井総務課長 下孝子集会所改修工事の財源としておっしゃられているのかなと思うのですが、総務課としては、森林組合の基金の額というのは、承知してないところで、その部分について集会所等の財源として、活用した経緯はないかなと思っております。

小川委員長 辻下委員。

辻下委員 孝子森林組合の、幾らか基金あるはずやで。一般財源、使わんでもね。これはやっぱり森林組

合の基金から使うべしと違うのかなと、このように思うんやけど、その点はどうですか。

小川委員長 西部長。

西総務部長 この集会所につきましては、町の施設でございますので、基本的には町のお金をもって修繕するというのが原則となっております。ただ、多奈川地区とか深日地区のように、財産区に一定の基金の余裕がある地区につきましては、財産区にご理解をいただきながら財源の繰り入れを行っているという状況でございます。財源の乏しい淡輪、それから、財産区自身がない孝子につきましては、これまで町のほうで財源を確保して修繕の経費を実施しているという状況でございます。

委員のご質問いただいております森林組合ですけれども、これは行政の団体ではなくて、あくまでも民間の団体でございますので、私どもからお金を求めるというのは、ちょっと難しいところであります。財産区と、ちょっと性格が違いますので、その点もご理解いただければなということで、確かに今まで多奈川とか深日とかについては、財産区にお願いしているという状況ではございますけれども、各集会所につきましては、その維持管理等について自治区で運営していただいております。町のほうも一部助成はしているんですけれども、実際は、それを上回る維持管理がかかっているという状況で、自治区で維持管理にも相当お金を出していただいているという状況もございますので、その辺もご理解いただければなと考えているところです。

小川委員長 笠間教育長。

笠間教育長 今、辻下委員から淡輪公民館の問題について、ご質問がございました。公民館につきましては、昭和47年の新設やと思っております。45年を経過しております。そしてまた、一番言えることは、耐震のほうもできていないという状況でございます。本当に不安な施設なんですけれども、ここ5年前ですが、一応、建て替えとか、いろいろなことを検討してまいりました。しかしながら、毎年、どこかが悪くなる。そしてまた、利用者もある程度、確保しているというようにもございまして、なかなか場所を新しくするとか、その億単位の経費がかかるということで、なかなか難しいなと思っているところでございます。

そして、これはご指摘なかったんですけれども、淡輪財産区のほうは、今、財源というのは、ほとんどあまり持ってなく、今まで学校関係とか、いろいろなことに協力をいただきました。しかし、現在、100万円単位のお金を要求するのは、なかなか難しいような状況が続いております。それで、何とか今の状況で少しでもよくするようというように、淡輪公民館の運営を続けていくためには、年間に幾らかの、幾ばくかの修繕料、そして、そのほかのいろいろな経費が必要になってきております。

もう一つ大きな理由は、建替えがなかなか難しいというのは、平成33年までエアコン、これはもう大分なると、15年ぐらいになりますかね。エアコンを設置しています。もともとのエア

コンが非常に音がうるさくて、今のエアコンを入れているわけですが、そのエアコンの契約、これはリース契約をしております、平成33年まで、あと約4年ですか、5年ですか、かかる。そこまでエアコンを契約している状況で、なかなか潰すとか、簡単にそういうことはできないというような状況でございまして、淡輪公民館を何とか、淡輪のクラブ協議会がございまして、そこも何とか使いたいというような要望がございまして、このたび補修、補修しながら使っていただくというようなことを考えておるところでございます。

小川委員長 辻下委員。

辻下委員 これ、正味言ったら、耐震もままならないということで、危険な公民館になっているはずですね。大きい地震、来たらあきませんよ、法面やから。そやから、ほかに財政も厳しいこと、わかっているんやけども、ほかに何か、もっと考えて、淡輪公民館をどこかへ移転するとか、どこかの施設を買って、そこへ合同で入るとか、そういうことを考えたらどうですか。

小川委員長 笠間教育長。

笠間教育長 今、ご指摘のとおりなんですけれども、これは検討しております。検討していますけれども、町長のほうにも、その回答をさせていただいているんですけれども、当分の間、現在の場所で何とか、確かに耐震のことは気になります。ちょっと前にも地震があったときに淡輪公民館、大丈夫かなというような、やはり一番先に頭をよぎりました。これは、やはり辻下委員の指摘のとおり、耐震の問題、非常にあると思います。斜面地ということも非常に心配しているわけですが、けれども、抜本的な建替えとか、移転ということには、今は至っていないのが現状でございます。

ただ、手をこまねいているわけではなく、一応、いろんな課題を設けて、検討を加えているということで、ご回答させていただけたらと思います。

小川委員長 辻下委員、検討中ということでよろしいですか。

辻下委員 はい。

小川委員長 他にございませんか。

出口委員。

出口委員 ふるさと納税の件なんですけれども、先ほど、るる寺田課長のほうから説明がございました。その中で謝礼品が電化製品が多いという形で、お話されてあったけども、やはり岬町独自のシタケとかシラスとか、そういうものの謝礼品としては、どれぐらい出ているのかと同時に、町として、やはり岬町民が育てたものとか、とったものに対して、やはりそれを優先的に岬町としても、謝礼品として勧めるべきではないかなと。なぜ、こういう話をするかと言いますと、実は秋田県の小坂町という町がございまして、人口が6,500人ぐらいですか、十和田湖を持つ町なんですけど、その町は、ほとんど謝礼品は小坂町で育った豚とか、ほとんどが地場産業の謝礼品を返金されているという形で考えておられるということを聞いていますので、その辺は、どうい

ような考え方を持ってはるかと同時に、金額も50%から30%に減額された場合、ふるさと納税の額は当然減ってくると思いますので、その辺も、どのような対策を練っていくのか。その辺をお聞かせ願いたいと思います。

小川委員長 寺田課長。

寺田企画地方創生課長 まず、地場産業の特産品について、我々も電化製品のみならず、従来から岬町で商売していただいている方にお声をかけさせていただいて、何とか謝礼品を出していただけないかと、いろんなお話をしているところでございます。

先ほど、言いましたように、我々の町には青木松風庵さんの月化粧、また、漁業とか農業もございますので、シイタケを出していただいたり、あと漁業のほうで、何とか鮮魚を出せないかなど、そういう相談は何度もさせていただいております。ただ、今の寄附の、一番大きなものが、たまたま電化製品でありまして、従来から、かなりの寄附額をいただいて、何百万円単位から何億円にまで、なった経緯がございます。

ただ、電化製品につきましても、国のほうの方針から高額な電化製品をやめろというような方針も出ておりますので、我々、5割から3割にしまして続けておりますが、これが、いつ全ての電化製品を取り扱ってはだめだという方向性も出る可能性がございますので、このままいきますと、今まで、現在の大半を占めているのが電化製品でございますので、寄附額がすごく減ってしまう可能性がございます。

ちなみに4月から8月、昨日までのデータを拾い上げてますと、地元の松風庵さんの寄附件数が一けた台になっております。あと、とっとパークの無料招待券とか、そういうのも特産品に挙げておりまして、これが13件になっております。本来であれば、確定申告の時期ということで、普通であれば年末に寄附額がかなり増える傾向がございまして、ただ、いろんなふるさと納税を扱う雑誌等が出ておりまして、寄附をすることで一定、税金の免除が知れ渡っております。また、インターネットの普及とか、そういうので結構、寄附はいただいているんですけど、ただ、我々も電化製品を扱わなくなったときに寄附額が減るのは懸念しておりますので、当然、今から対策というんですかね。いろんなところに当たっていかないといけないとは思っております。

あと5割から3割の対策としましては、いわゆる電化製品については、そういう対策を講じておりますが、ただ、地元の地場産業、例えば、イノシシの肉を魅力ある特産品にならないとか、そういう地元の謝礼品もふるさと納税として取り扱っておりますが、なかなかそこに対するお申し込みが少ないというのが現状です。

3割の中で何とか岬町の資源とか、そういうのを活かした特色のあるふるさと納税の謝礼品を提供できればなと思っておりますが、なかなか厳しいところがあるというのが現状でございます。

小川委員長 他にございませんか。

(「なし」の声あり)

小川委員長 質疑なしと認めます。

これで質疑を終わります。

続いて、討論を行います。

討論ございませんか。

(「なし」の声あり)

小川委員長 討論なしと認めます。

これで討論を終わります。

続いて、採決を行います。

議案第48号の件のうち、本委員会に付託された案件について、原案のとおり可決することに賛成の方、挙手を求めます。

(挙手全員)

小川委員長 満場一致でございます。

よって、議案第48号は、本委員会において可決されました。

次に、議案第52号「平成29年度岬町深日財産区特別会計補正予算（第1次）の件」について、議題とします。

本件について、担当課から説明を求めます。

松井課長。

松井総務課長 委員会資料の5ページをごらんください。

平成29年度、岬町深日財産区特別会計補正予算（第1次）件につきまして、ご説明いたします。

まず、歳入でございます。4繰入金、1基金繰入金、深日地区財産区基金繰入金といたしまして426万円の増額補正を行うものです。

内容につきましては、繰出金に充当するための財源調整です。

次に、歳出です。2諸支出金、2繰出金、繰出金といたしまして426万円の増額補正を行うものです。

内容につきまして、深日小学校トイレ改修工事にかかる経費としまして、426万円を一般会計に繰り出しするものです。

以上、当委員会付託分といたしまして、歳入歳出ともに計426万円を補正するものです。

小川委員長 説明に対して、質疑、ございませんか。

(「なし」の声あり)

小川委員長 質疑なしと認めます。

これで質疑を終わります。

続いて、討論を行います。

討論ございませんか。

(「なし」の声あり)

小川委員長 討論なしと認めます。

これで、討論を終わります。

続いて、採決を行います。

議案第52号の件について、原案のとおり可決することに賛成の方の挙手を求めます。

(挙手全員)

小川委員長 満場一致でございます。

議案第52号は、本委員会において、可決されました。

議案第53号「平成29年度岬町多奈川財産区特別会計補正予算（第2次）の件」について、議題とします。

本件について、担当課から説明を求めます。

松井課長。

松井総務課長 委員会資料の6ページをごらんください。

平成29年度岬町多奈川財産区特別会計補正予算（第2次）の件につきまして、ご説明いたします。

まず、歳入です。3繰入金、1基金繰入金、多奈川地区財産区基金繰入金としまして85万4,000円の増額補正を行うものです。

内容につきましては、繰出金に充当するまでの財源調整です。

次に、歳出です。2諸支出金、2繰出金、繰出金といたしまして85万4,000円の増額補正を行うものです。

内容につきましては、西集会所フェンス取替工事にかかる経費としまして85万4,000円を一般会計に繰り出しするものです。

以上、当委員会付託分といたしまして、歳入歳出ともに計85万4,000円を増額補正するものです。

小川委員長 ただいまの説明に対して、質疑ございませんか。

(「なし」の声あり)

小川委員長 質疑なしと認めます。

これで質疑を終わります。

続いて、討論ございませんか。

(「なし」の声あり)

小川委員長 討論なしと認めます。

これで、討論を終わります。

続いて、採決を行います。

議案第53号の件について、原案のとおり可決することに賛成の方の挙手を求めます。

(挙手全員)

小川委員長 満場一致でございます。

議案第53号は、本委員会において、可決されました。

次に、議案第57号「職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する件」について、議題とします。

本件について、本議会で説明を受けておりますので、説明を省略したいと思います。

よろしいでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

小川委員長 それでは、質疑に入ります。

質疑ございませんか。

(「なし」の声あり)

小川委員長 質疑なしと認めます。

これで質疑を終わります。

続いて、討論を行います。

討論ございませんか。

(「なし」の声あり)

小川委員長 討論なしと認めます。

これで、討論を終わります。

続いて、採決を行います。

議案第57号について、原案のとおり可決することに賛成の方の挙手を求めます。

(挙手全員)

小川委員長 満場一致でございます。

議案第57号は、本委員会において、可決されました。

次に、議案第58号「職員の退職手当に関する条例の一部を改正する件」について、議題とします。

本件についても、本議会で説明を受けておりますので、省略したいと思います。

よろしいですか。

(「異議なし」の声あり)

小川委員長 それでは、質疑に入ります。

質疑ございませんか。

副委員長。

竹原副委員長 私から、この条例改正に関する件で、対象者というのが、今回、これを決めることによって、どのような方が対象になって、何人ぐらい対象になるのかというのだけ確認させていただきたいと思いますが、よろしくお願いします。

小川委員長 廣田課長。

廣田人事担当課長 対象者と言いますか、実際、今回、法令の改正によりまして、失業者の退職手当の給付日数が増えるような形になっておりまして、中身的には実際、今回の手当の給付日数の拡充ということなんですけども、雇用情勢が悪い地域に居住するものとか、倒産、解雇等により離職したものとか、その辺の要件を満たすときは給付日数が拡充されるということで、具体的には、今まで本町では過去に、もともと退職手当の分の、この部分に関しては該当はなかったんですけども、今回の給付の拡大によりまして、特に対象になる者は、今のところいません。

小川委員長 他に質疑ございませんか。

(「なし」の声あり)

小川委員長 これで質疑を終わります。

続いて、討論を行います。

討論ございませんか。

(「なし」の声あり)

小川委員長 討論なしと認めます。

これで、討論を終わります。

続いて、採決を行います。

議案第58号について、原案のとおり可決することに賛成の方の挙手を求めます。

(挙手全員)

小川委員長 満場一致であります。

よって、議案第58号は、本委員会において、可決されました。

認定第1号「平成28年度岬町一般会計決算認定の件」のうち、本委員会に付託されました案件を議題とします。

本件についても、本議会で説明を受けておりますので、説明を省略したいと思います。

よろしいですか。

(「異議なし」の声あり)

小川委員長 また、歳入歳出を、それぞれ分けて審議したいと思います。

よろしいですか。

(「異議なし」の声あり)

小川委員長 それでは、歳入から審査に入ります。

委員会資料の14ページから22ページをごらんください。

質疑ございませんか。

坂原委員。

坂原委員 ちょっと2点だけ確認をお願いしたいと思います。

まず、1点目が14ページの徴税のところですが、目1個人のところで、滞納繰越分とあります。滞納繰越分として調定額に対して収入済額と出ています。ここで徴収率というのが出てくると思うんですけど、ちょっと調べてみますと、平成27年度より平成28年のほうが少ないかなと思います。

もう一つが、項2固定資産税のところの節2滞納繰越分、これも徴収率を見ますと、平成28年度は前年度よりも、ちょっと少ないかなと見受けられます。これも行革の目標値というのがあると思うんですけど、それぞれ、その行革の目標値というのは、この徴収率は何%に設定していたのか。その行革の目標値は達成できたのか。できなかったのであれば、なぜなのかをお聞きしたいと思います。

まず、この1点、お願いします。

小川委員長 どなたが答弁していただけますか。

徴収率と達成率をお聞きしていると思うんですけども。

四至本部長。

四至本財政改革部長 まず、個人町民税の行革の平成28年度の目標ですけれども、これにつきましては、平成28年度の、現年につきまして98.7%という形で設定しておりました。

実際、この決算におきましては98.5%という状況になってございます。

それと滞納ですけれども、滞納の目標、個人町民税の滞納の目標値ですけれども、徴収の目標値は28.1%、これに対して25.7%という状況になっているという状況でございまして、基本的には、この個別状況につきましては、確かに、この分につきましては目標より少ない徴収金になっているという状況でございますけれども、全体に見ますと、基本的に全税目におきますと、前年度と同じ94.1%という状況ですので、内容的には、やはりこの個人町民税に関しての徴収というところも、全体的な話を申し上げますと、実際、平成28年度の徴税の滞納額というのは、今回、不納欠損というのを差し引きますと1億2,229万4,000円程度あるという状況でございます。

実際、この中で分納誓約、それと差押を行っております。額とすれば、9, 142万円程度という状況でございます、約74.8%というのを何とか対応しておるという状況でございます。残りの分につきましては、現在、執行停止を行っておりますものが、700万円程度ございまして、あと対応すべき額というのが2,400万円程度という状況になっております。

この辺、基本的にはほとんど滞納と言っても処理しておるわけなんですけども、なかなか分納という部分で今回徴収のほうには上がってこないのが原因じゃないかと考えております。

小川委員長 もう1点、固定資産税のほうは、誰が答弁していただけますか。

四至本部長。

四至本財政改革部長 固定資産税につきましては、徴収率は、行革計画の中では平成28年度の現年は99.3%ということで、徴収率につきましては98.9%、それと滞納につきましても20.3%ということですが、徴収率は13.7%という状況になっておりまして、先ほどご指摘のとおり、前年度に比べても低くなっている状況でありますけれども、内容といたしましては、先ほどの全体的な考え方のもと、なかなか伸びてきておらないというのが状況かと考えております。

小川委員長 坂原委員。

坂原委員 その件は、それで結構です。

2点目ですが、委員会資料15ページの一番上、ゴルフ場利用税、この額は去年とあまり変わっていないように思うのですが、まず、この交付金というのは、これは府からになるのですか、国から来るのでしょうか。わかりますか。

小川委員長 相馬課長。

相馬財政課長 ゴルフ場利用税交付金のご質問でございますけれども、まず、ゴルフ場利用税につきましては、ゴルフ場が所在している市町村に対して、その当該市町村に所在するゴルフ場に対する利用税の10分の7相当額を交付するものでございまして、これにつきましては、府税でございます。

坂原委員 府からということですね。

今、10分の7とありましたけど、10分の7が町に来て、10分の3が府に残るということですか。それでいいのでしょうか。

相馬財政課長 おっしゃるとおりでございます。

小川委員長 他にございませんか。

出口委員。

出口委員 毎回、決算でお聞きしますけれども、滞納金の問題ですが、今回、現年課税分と滞納繰越分で個人、法人の町民税、固定資産税、軽自動車税でトータル、収入未収額が1億2,225万4,

277円ですか、トータル未収額がございすんやけども、同時に滞納繰越金がトータルでいきますと9,748万4,265円の滞納繰越金がございす。それで、そういうところが、特に不納欠損額が滞納繰越分でトータル443万585円の不納欠損が出ておりますんやけども、これ個人町民税、固定資産税、軽自動車税の、その詳細をちょっと教えてほしいんです。

なぜかという、仮に町民税の185万1,685円の不納欠損が、今度、出ておりますが、これはもう何年前からの不納欠損であったのか、何件あったのか、なぜこれが不納欠損に値するような理由を、ちょっとこの町民税、固定資産税、軽自動車税というところの詳細を回答願いたいと思います。

小川委員長 阪本課長。

阪本税務課長 委員ご質問の件にお答えいたします。

不納欠損につきましては、総額443万585円となっております。内訳といたしましては、地方税法に基づきまして執行停止を行ってまいりまして、その後、3年間経過したものを今回、不納欠損処理として計上しております。

内容といたしましては、地方税法15条の7の第1項第1号の無財産の者、こちらが町府民税で32件、90万2,983円、固定資産税で35件、34万300円、軽自動車税で49件、22万2,800円、合計116件の146万6,083円、地方税法第15条7の1項第2号生活困窮という項目でございすけども、こちらの項目では町民税34件、52万9,406円、固定資産税81件75万9,000円、軽自動車税3件、2万1,600円、合計118件で131万6円となっております。

もう一つ、15条の第7項3号といいまして、居所不明の者でございす。こちらにつきましては、町民税14件、41万9,296円、固定資産税が4件、2万6,400円、軽自動車税4件、1万6,000円、合計22件、46万1,696円となっております。

それから、固定資産税のほうで、3年経過せずに即時消滅ということで88件、119万2,800円となっております。合計しまして344件の443万585円となっている状況でございす。

小川委員長 出口委員。

出口委員 今の阪本課長の説明で、理解はできるんですけども、ということは、また、これ来年度も収入未済額が約1億2,225万4,277円ですか、ございすけども、執行停止から3年たって、また、来年度も、これ執行部の約500万円近くの不納欠損が出るのではないかなと私は予想しているんですけども、もうこれが毎年、毎年、こういう形で、年に500万円近くの不納欠損が出てくれば、非常に、真面目に税金を支払っている方々、大変、その支払わない方々の面倒を見ないといけないという形で、もう少し、滞納される方々の、当然、滞納される方は税金を納めるだ

けの余裕はないし、資産もないということだと思いますやけども、その辺を、これからどういう形で不納欠損を少なくしていくかということをお考えか、お聞かせ願いたいと思います。

小川委員長 阪本課長。

阪本税務課長 まず、その前のご質問で、何年ぐらい経過というご質問にお答えしていませんでしたので、まず、そちらからですけども、先ほど、三つの、4項目の欠損事由を申し上げましたけども、無財産、生活困窮、居所不明、この3項目につきましては、今から3年前からの経過を追って、毎年、調査しているんですけども、なお、状況が変わらない方につきましては、不納欠損という形の処理をさせていただきました。

そして、即時消滅といいますのは、会社が解散なり倒産なりして、もう法人に対して請求権がなくなってしまったというケースの場合は即時消滅で処理させていただいた分がございます。

今後とも、徴収は毅然と、徴収しているところでございますけれども、何分、財産のない方、または生活困窮に陥る方等につきましては、法に基づいて適正な処理をする必要があると考えてございます。また、生活困窮に陥っている方につきましては、徴収するのみでなく、役場内の生活困窮の関係部署につないで、違う方面でアドバイスしたり、多重債務の方とかでありますたら、そういった多重債務の担当窓口等にもつないだりすることを心がけているところでございます。

何分、不納欠損をなくするというのは、一概に難しいところがあるんですけども、適正な徴収に今後とも努めてまいりたいと思いますので、ご理解のほどよろしくお願いします。

小川委員長 田代町長。

田代町長 補足説明をしたいと思います。

今、担当のほうは踏み込んだところまでは話ができていないので、委員さんとしては、少し納得して頂いていないのかなと、このように思います。

いうことは、真面目に払っている人が、いわば払わない人から見たら、不利益をこうむっているということになろうかと思しますので、今、実際、原課がやっているのは、先ほど、倒産をしたり、いろんな事情があって、やむを得ない場合のほかは、いろいろと通告なり勧告なりしても、なかなか支払いをしてもらえないということについては、徹底して差押処分、また銀行の預金、そういったものを全部押さえていっています。

これは、個人情報等の問題があるので、何件あるのかということは、また担当に聞いていただいたらわかると思いますけども、そういったことで、絶対ごね得は許さないというのが私の本心でありますので、毎年、何回となく差し押さえをやる。その中で、結果的、分納で何とか納めていくからとか、また一括で納める方とか、いろいろありますので、今、委員おっしゃるように、真面目な人が損するようなことは、今、やってない。

徹底して税の回収には担当としては、今、努めておりますので、その辺も理解していただきたいと、このように思います。

小川委員長 出口委員。

出口委員 町長のおっしゃることはよく理解できますんやけども、よく私も住民さんから、多分、町長が約3年前かな、タウンミーティングで、深日会館でタウンミーティングをされたときに、一住民から滞納金額が約3億円からあるのじゃないかと、その部分に対して、どのような対応をするんだということで、町長が答えた回答は、全額回収しますということで答えたように聞いております。

その質問者からですよ、私、直接聞かせていただいて、町長、こういう形で回答されたと、その後、ちゃんと議員としても、議会としても、そういうような追求をしているのかという話もございましたので、この件を再度、聞かせてもらったんですけども。

ただ、昨日、一昨日と事業委員会のときにも町営住宅の家賃の件で、奥課長が滞納額が多い方もおられます。2年間、病院に入院されて、実際、家賃が払えていないという形で、最終、分納で話ができましたと、前向きな姿勢はあるんですけども、けども、その滞納されている方は1年、2年じゃないと思うんですね。

それがもう家賃であれば、毎月、必ず家賃がかかってまいります。そういうときに、その分納されても、より以上に、その分納以上に、また滞納額が増えるのじゃないかなと私は疑問を持っています。

今の固定資産税に対しても、当然、年に4回の分割で支払いがあるんですけども、その辺の、その分納で皆さん最終的には回答をもらうんやけども、その分納は実際に、年に4回の固定資産税の支払いに対して、プラスアルファの分納であつたらいいんやけども、逆にマイナス面の分納であつたら、より以上にまた、滞納金が増すばかりだとは思っていますので、その辺もどう考えているのかなというように思います。

ちょっとお聞きしたいと思います。

小川委員長 田代町長。

田代町長 分納制度というのは、以前からあつたかと思いますがけれども、特に私が就任してから、大体、数字は担当のほうから聞いていただいたらわかると思いますけれども、私の記憶では7～8億円の、税以外も含めて全体の滞納者があつたと思います。それが、現在は半分ぐらいに、減っている。特に、税のほうは2億円足らずぐらいになってきているのじゃないかなと、固定資産税、町民税については、なっているのじゃないかなと。

もちろん、分納も入れての話なんですけども、そういった意味で、例えば、今、公営住宅の話も出ましたが、長年、病気で患っていて、なかなか収入もない、支払いができないとこ

ろについては、やはりそれ相当の、やっぱり配慮が必要かなと、私は思っております。

どうしても、払えるのに払わないというのは、これは、しっかりと徴収すべきであって、そういった過去からの事情があって、その滞納があるということについては、できるだけ訪問しながら、事情を聞きながら、やっぱり徴収に努力をしていますけども、過去からの長い積み重ねで、その滞納している方は、それを一気に払えって言っても、それをやっていたら、例えば、今度は現年度が払えなくなってしまうというような状況がありますので、今までの過去の、その滞納については、分納でやっていく。

分納三月以上、例えば三月分納していて、四月目にとまったとしたら、すぐさまうちの担当が、すぐその分納に対する徴収をしていますので、恐らくその分納はきっちりと、今、担当者に説明いただいたらいいんですけど、順調に納めていただいていると、このように私は理解しているんですけども、その辺は担当のほうで説明してやってください。

小川委員長 阪本課長。

阪本税務課長 町長おっしゃっていますように、私ども基本的には現年度と過去の滞納分の分納というのを、原則にお願いしております。ですので、現年を滞納しないことによって、過去の滞納が縮小していくということを目途に徴収しているところでございます。

ちなみに、過去から税の滞納繰越額におきましても、年々縮小されているのは事実でございます。一足飛びにゼロにまではならないと思うんですけども、地道にでも、こういう形で未収金の回収に努めたいと考えております。

小川委員長 出口委員。

出口委員 町長、阪本課長がおっしゃるように、8億円近くあった滞納金額が約3億円強になっているということで、それはよく、私も理解できます。その中で、私言いたいのは、この収入未済額が非常に、多分、この部分の回収困難になっている部分は、古い、多分繰り越したからと思うんですわ。そういうところを、これからどういう形でやっていかれるのか、その辺はなかなか難しい問題で、私も、この議員の前にサラリーマンやっていたときに、そういう管理関係の仕事、経理関係をやってましたので、もう本当に阪本課長が一番大変な仕事をされていると思いますので、これ以上は言いませんけども、やはりできる限り、一生懸命努力していただいて、これが財政面でも少しでも、明かりを取り戻せばいいかなと思いますので、一つ努力していただけたと思います。要望として。

小川委員長 他にございませんか。

副委員長。

竹原副委員長 18ページの一番下のところの財産売却収入というところで、不動産売却収入、町有地売却収入と、その一個下の物品売却、車両売却収入、これそれぞれ何件あったのか、教えていただければと思います。

小川委員長 件数をお願いします。

はい、どうぞ。

松井総務課長 平成28年度町有地の売り払いは1件、一般競争入札によりまして売却させていただきました。また、車両売払収入につきましても1台、平成28年7月に入札を行いまして、売却させていただきます。

小川委員長 他にございませんか。

(「なし」の声あり)

小川委員長 これで、一般会計歳入についての質疑を終わります。

続いて、歳出に入ります。

まず、議会費に入ります。

決算書の62ページから65ページをごらんください。

質疑ございませんか。

(「なし」の声あり)

小川委員長 質疑なしと認めます。

これで、議会費の質疑を終わります。

続いて、総務費に入ります。

決算書の64ページ、93ページをごらんください。

ただし、74ページから75ページの目6交通安全対策事業費、86ページから89ページの項3戸籍住民基本台帳費は、他の所管でありますので除きます。

質疑ございませんか。

坂原委員。

坂原委員 何点かありますので、何回かに分けてお聞きしたいと思います。

まず、65ページの節1報酬のところで、特別顧問報酬として65万円と上がっています。これは、調べると前年度も67万5,000円として上がっておりました。これは、どういった人で、どういう仕事をされている人、あるいは何人いてるのか、お聞きしたいと思います。

それから、もう1点、69ページですが、節13の委託料のところで、町長公室担当のところで、職員採用試験問題等作成委託料として80万3,908円と支払っております。これも去年から見ますと、約2倍になっているんですけど、その理由は何なのか。まず、この2点お聞きしたいと思います。お願いします。

小川委員長 はい、1点目からの65ページの報酬費のほうから、はい、どうぞ。

廣田人事担当課長 まず、特別顧問報酬の件ですが、内容的に町政特別顧問の報酬ということで、人数的にも現在、警察のOBの方と、それから市民農園担当の農学博士の方、2名を特別顧問として

任用しております。中身的には、警察OBの方に、いろいろ政策運営に関して、いろんなことをお聞きしたりしているような形で、昨年度より若干減にはなっているんですけども、同程度の金額になっております。

すみません。それから委託料のほうですが、職員採用試験問題等の作成委託料ですが、昨年度よりちょっと増えているんですが、実際、回数のほうが2回、採用試験を実施しております。まず、5月29日に1回実施しているんですが、このときは平成27年度末に急遽退職した者の補充ということで、土木職1名、それから、一般職の事務1名ということで2名、自己都合退職が急遽出たために、5月29日に急遽、試験を実施しました。この部分で費用のほうが23万6,520円。

それから、通常の定年退職者等の補充ということで、平成28年10月30日に再度、実施しています。この部分が56万7,388円ということです。

2回試験をしているということと、それから、今まで一般教養試験、それから適性検査のみでしたが、このときから補正させていただいたんですけども専門試験、一般行政の部分で専門試験を実施させていただいたために、昨年度より増加という、平成27年度より増加という形の決算になっております。

小川委員長 坂原委員。

坂原委員 はい、次の質問に移ります。

同じく、69ページの節14使用料及び賃借料のところで、財政課ですね。財務会計システムリース料として260万幾らが上がっております。

これは、去年のを見ますと21万7,000円何がしという金額やったんですね。10倍以上になっているんですけど、これは、この10倍の、昨年の10倍の、このリース料を払っても財政効果が得られるのかというのがあって、こうしているんだと思うんですけど、本当に、この財政効果があるのか。でこのリースというのは、何年リースになっているのか。それが今年度の予算にも上がっていたように思います。その点を1点と。

それから、73ページです。73ページに、節12役務費、これは単純に項目の説明をお聞きしたいんですけど、運転経歴証明手数料として630円上がっているんですが、これはどういう内容なのかというところ辺、まず、この2点、またお聞きしたいと思います。お願いします。

小川委員長 はい、どうぞ。

相馬財政課長 財務会計リース料のご質問にお答えさせていただきたいと思います。

委員おっしゃいますとおり、前年度につきましては、そのリース料につきましては、約21万7,000円、そして、平成28年度決算につきましては260万4,000円程度になっているといった形でございまして、これにつきましては、現在、財務会計システムについてシステム

化を行いまして、それについてリースを行っています。

ただ、その財務会計については、昨年度の約21万7,000円につきましては、新システムの1カ月分だけとなっております。といいますと、契約期間につきましては、今の新しい財務会計システムにつきましては、平成28年3月1日から平成33年2月の末までの5年間の長期継続契約という形で契約を結んでございまして、したがって、平成27年度についての執行は3月の1カ月のみといった形となっております。

平成28年度につきましては、12カ月分が計上されているといった理由でございます。

小川委員長 その件については、坂原委員、よろしいですか。

坂原委員 はい。5年リースのはわかりましたけど、それだけ支払っても財政効果があるのかというところはでしょうか。

小川委員長 相馬課長。

相馬財政課長 財務会計システムにつきましては、予算の執行の他に予算編成、そしてまた、会計処理、決算書の作成といった形になってございまして、岬町の予算も大きくなっていることから、とても手ではできないものとなっております。

また、今回から決算書については、今までの横置きから縦置きとなっておりますとおり、システムを活用した上で、さまざまな財政分析を行っております。これについては、財政負担というのは、もちろん出てくるわけなんですけども、リースを行って財政負担を平準化した上で対応しておきたいことから、一定の効果はあるのかなと担当課としては考えているところでございます。

小川委員長 73ページ。

松井総務課長 2点目の73ページ、12役務費の中の運転経歴証明手数料の件ですが、これにつきましては、安全運転管理者の届け出に必要な書類となっております。

人事異動に伴いまして、安全運転管理者の届け出が必要になりまして、その職員の運転経歴証明書の発行をするために手数料として払ったものです。安全運転管理者というのは、事業者で何台以上所有する場合については、安全運転管理者を設置しなければいけないという義務がございまして、本町におきましては、正の安全管理者1名、副安全運転管理者3名を専任しております。

小川委員長 坂原委員。

坂原委員 今の件は了解しました。

すみません。あともう3点ほどあるんですが、お願いします。

79ページの節1の報酬のところですが、男女共同参画審議会委員報酬として、これは2万6,500円と上がっています。これは、去年は3万9,500円やったんです。ずっと上がっているんですけど、この男女共同参画審議会というのは、どんな組織なのかなという、その内容を説

明してほしいのと。それから、人数もあわせてお願いしたいんです。今の、その下段、そのすぐ下のいじめ問題対策連絡協議会委員報酬としてありますけど、これも同じく組織の内容、人数を教えてほしいと思います。

あわせて、これ不用額として5万9,000円上がっているんですけど、これは昨年も不用額として、同じような額が上がっていたんですね。この不用額の理由もあわせてお聞きしたいと思います。これ、そしたら、まず一つお願いします。

小川委員長 どなたが、はい、どうぞ。

福井人権推進課長 ただいま委員言われました質問に対して、今、手持ちで資料を持っておりませんので、改めて回答させていただきたいと思います。

小川委員長 福井課長、坂原委員の質問で3点あったと思うんですけども、内容、人数、不用額の要因、これ3件とも今、資料がないということですか。

福井人権推進課長 不用額につきましては、男女共同参画審議会委員の4名が委任状を出されておまして、参加がされておらなかったもので、委員の日額は6,500円となっておりますので、6,500円掛ける4名の2万6,000円と、いじめ問題対策連絡協議会委員報酬につきましては、不用額は5名、これも委任状によりまして、同じ同額の6,500円掛ける5人が出席されませんでしたので、お支払いしていません。

小川委員長 不用額の件については、ご確認いただいたということで、補足説明で西部長、お願いします。

西総務部長 男女共同参画審議会の委員の報酬の内容でございますが、これは平成15年に男女共同参画のウィッシュプランというのを作成いたしておまして、男女共同参画事業を総合的に推進していくということで、その内容の制定とか、進捗状況を確認するための委員会として、審議会を設置させていただいております。

これにつきましては、10名の委員で構成しておまして、人権協とか商工会、それから公募委員、学識経験者、学校関係者の方に委員として参画をいただいております、その分の報酬を、ただいま説明したようにお支払いをさせていただいているところでございます。

また、いじめ問題の対策連絡委員会につきましては、平成25年に、いじめ防止対策推進法が公布されまして、その趣旨を踏まえて、本町でも平成26年に、いじめ問題対策連絡協議会等の条例を制定しております。

昨今、問題となっております、学校でのいじめ問題等を協議するというので、児童相談所や法務局、それから警察、教育委員会など、18名の委員で構成いたしておまして、出席された委員に対して、報酬をお支払いしているところでございます。

不用額につきましては、当日、欠席される委員もございますので、その分、報酬をお支払いしていませんので、不用額が生じたものでございます。

小川委員長 坂原委員。

坂原委員 はい、わかりました。

もう2点ほどお願いします。81ページです。節13の委託料、一番下のほうですね。一番下のほうで、地方創生企画政策担当のほうで、空き家まち育てシンポジウム等開催委託料として上がっております。これは去年なかったように思うんですけど、こちら上がっているということで、その内容について、お聞きしたいと思います。

これは、今年の当初予算にもなかったかなと思うんですが、この内容について説明をお願いしたいと思います。

それから、もう1点、85ページです。これは節12の役務費、税務課のほうで軽自動車検査情報提供手数料とあるんですね。検査情報の提供の手数料として上がっているんですけど、これは去年なかったように思うんですけど、内容はどんなのかなと、これどこへ提供しているのかなと思うんですけど。この2点について、説明をお願いします。

小川委員長 81ページの委託料は、どなたが、はい、寺田課長。

寺田企画地方創生課長 空き家まち育てシンポジウム等開催委託料について、ご説明させていただきます。

まず、当初予算にはなかったもので、平成27年度の補正予算（第7次）で予算化しまして、繰り越しをいたしまして、平成28年度に実施した事業になります。

事業の内容なんですけど、空き家に関心のある人や、まちづくりの人材の発掘、育成を図るために地域づくりワークショップというのを開催しております。これは、空き家をまち歩きをしまして、岬町にどれだけ活用できる空き家があるのかとか、そういうことを4回にわたり実施しまして、大阪大学の先生と一緒に連携しまして、実施した事業になっております。

ただ、当初の補正予算で上げました費用につきましては、実際400万円という形で補正予算を組みまして繰り越しした経緯がございますが、ただ、地域めぐりワークショップと当初の計画ではリノベーションシンポジウムというような開催を計画しておりましたが、いろんな事業を進める中で、地域に密着した形で地域めぐりワークショップを重点的に実施した経緯等で、リノベーションシンポジウムという大きなシンポジウムが実施できなかったんですけど、その分が不用品になったという経緯でございます。

小川委員長 阪本課長。

阪本税務課長 軽自動車検査情報手数料につきまして、ご説明いたします。

こちらの手数料につきましては、平成28年度から開始されたものでございまして、地方公共団体情報システム機構から軽自動車税の課税事務に必要な軽自動車の検査情報を町に提供いただくものでございます。

情報提供を受けた件数につきまして、1件11点、10.2円の支出をするものでございまして、平成28年度は開始されたところでございますので、全登録車数と、それから随時登録・廃車、継続検査情報等について情報提供分の手数料を納付したところでございます。

今後、平成29年度以降につきましては登録・廃車、継続検査情報のみとなる予定でございます。

小川委員長 坂原委員。

坂原委員 その軽自動車の件は、それ情報提供してもらったのを、どういように課税するんでしょうか。

小川委員長 阪本課長。

阪本税務課長 この情報をもとに課税、廃車等をシステムに取り込みまして、次年度以降の課税台帳の作成等に活用させていただいております。

小川委員長 四至本部長。

四至本財政改革部長 補足させていただきます。

この軽自動車の課税に関しまして、現在、重課とか軽課とかありますので、特に重課する場合には、いつ登録されて、何年たったかという情報が必要ですので、その情報を、このシステムから得るといことで必要だということでご理解願いたいと思います。

小川委員長 他にございませんか。

反保委員。

反保委員 2点お聞きします。69ページの防犯カメラの設置補助金、今、岬町には防犯カメラは何台ほど設置をされているんですかというのが一つと。

それから、81ページに、地方創生の企画政策担当の中に、地域まちおこしの協力隊というのは、以前お聞きしたことがあるんですけど、これは消えているということは、募集を5名ほどするとか聞いておったんですけど、もうそういう応募がなかったんでしょうか、まちおこし協力隊。家賃の補填もするという予算もとっていたと思うんですけど、今、その2点を、お聞きしたいと思います。

小川委員長 川端課長。

川端危機管理担当課長 委員の質問にお答えさせていただきます。

防犯カメラの設置状況につきましては、平成28年度決算時点でお答えをさせていただきます。

住民生活課が所管しております駐輪場に5基、いきいきパークに4基、とっとパークに1基、自治区主体で設置しております淡輪15区におきまして2基、岬町危機管理担当で所管しております防犯カメラ設置補助金に基づいて設置しておりますのが、多奈川池谷地区で1基、佐瀬川地区で1基、淡輪16区で1基、これで合計15基となります。

そのほかに、把握しておりますのが、漁業組合が22基、合わせて37基の設置を把握しております。

小川委員長 寺田課長。

寺田企画地方創生課長 委員ご指摘の地域おこし協力隊の件なんですけど、平成29年度の事業になりまして、決算書には出てきませんので、今後、今年度の事業になります。

今、取り組みを進めているんですけど、年末にかけて募集を行って、年明けに地域おこし協力隊に、岬町に来ていただくという方向で計画を進めております。

小川委員長 反保委員。

反保委員 もう一つ、お礼があります。3日、4日前から、私らの深日の中出地区、消火剤の配布が区長は1軒、1軒回られて、もらった、もらわへんというようなことになったら、町に迷惑がかかったらあかんということで1軒、1軒、手渡しで回っていただいています。

回っていただいたところから、いいのをいただいたという声の中出地区では上がっております。

もう10人ほどは、町のほうに、ありがとうと言っておいてくれという、そういう声は出てますので、お伝えしときたいと思います。

小川委員長 よろしいですか。

他にございませんか。

はい、副委員長。

竹原副委員長 83ページの中段より上のところ、節19負担金補助及び交付金、地方創生企画政策担当、スポーツ事業補助金、それと1個下の農業生産部門支援補助金、それと結婚新生活支援事業補助金、これについて少し内容を教えていただきたいのと。件数、幾らあったのか、教えてもらえたらと思います。

小川委員長 内容と件数について、寺田課長。

寺田企画地方創生課長 スポーツツーリズム事業補助金につきましては、決算額のほうが45万5,264円となっております。スポーツツーリズム事業補助金につきましては、スポーツツーリズム推進計画というのを作りまして、岬町でスポーツにかかわる事業に対して、一定補助金を出すということで、地方創生の取り組みとして実施しております。

この事業につきましては、2団体に補助金を出しております、一つ目が岬&洲本ファインディング・ゲームズということで、まち歩きとロゲイニングを組み合わせたスタイルの参加者チームがチームを組んで、町内の複数箇所に設定されたチェックポイントを訪れて、グループで写真撮影することで得点を競うようなゲームに対する補助金を出した経緯がございます。

二つ目としまして、大阪岬町サイクリングフェスティバル、いきいきパークみさき内で周回道路を使用して自転車レースを開催しております、それに対する補助金を出しております。この

2点あわせまして、スポーツツーリズム事業補助金としております。

次に、農業生産部門支援補助金1,010万円です。こちらにつきましては、シルバー人材センターに農業生産部門を組織化しておりまして、休耕地を利用した農業生産を行うことによりまして、高齢者の就労の場の確保とか、あと経済的な自立、仲間づくり、健康づくりに努めるとともに、休耕地の解消による良好な景観の確保と、農業に関心のある人々を、まちに呼び込むことで、地域の活性化を図ることで補助金を出しております。

こちらの経費につきましては、ビニールハウスを3基設置したりとか、あと初期に必要な経費を負担しておりまして、例えば発電機とか、エンジンのポンプとか、あと作業に必要な軽トラックとか、そういうものにかかる経費でございまして、2年目以降は自立化して、事業を続けていただきたいなと考えておりまして、1年のみの補助金になります。

次に、結婚新生活支援事業補助金なんですけど、こちらのほうが決算額36万円になっております。当初、こちらにつきましては、新規に婚姻した世帯に対して、住宅の取得とか、もしくは住宅の賃貸とか、また、引っ越しにかかる費用について補助金を出しております。当初計画では6件程度を想定しておりましたが、結果、2件になりまして、不用額が若干出ております。

一応、国の交付金が、この中に入っております。

小川委員長 副委員長。

竹原副委員長 はい、ありがとうございます。以上の点、了解しました。

質問を少し変えまして、89ページあたり、選挙費用について、ちょっとお尋ねしたいと思います。89ページのところで選挙費の、参議院議員の選挙が平成28年度にありまして、歳入でも、たしか1,000万円程度、1,000万円入ってきていたのですが、それで、また選挙を行うに当たって1,000万円かな、支出されておられます。

選挙というのは、お金かかるのだなあと思いつつ、実際に選挙があつて、これぐらいの金額になるんですけど、もし選挙がない場合は、どれだけ不用額になるのかなというのがわかっていたら、ちょっと答弁、ばくつとしたもので結構ですので、よろしくお願ひしたいと思います。

小川委員長 松井課長。

松井総務課長 選挙、参議院議員選挙の経費1,000万円程度、決算として上がっておりますけれども、万が一、無投票になったケースを考えますと、公示を受けまして、それ以降の期日前投票ないし当日の投開票にかかる経費が不用額になるのではないかと思います。

まず、89ページの一番下の1の報酬につきましては、期日前と当日の経費となっておりますので、ここは全て不用額となるのではないのかなと。

あと職員手当等についても、当日の事務従事者手当とか、管理職特別手当等も不用になりました、そういったものを足していきますと、大体400万円程度の不用額が出るということで、1,

000万円のところ600万円程度の経費で済むのではないかなという超概算の計算となりますけれども、そういうことになるのかなと思います。

小川委員長 よろしいですか。

竹原副委員長 はい、結構です。

小川委員長 他にございませんか。

(「なし」の声あり)

小川委員長 ないようなので、これで質疑を終わります。

続いて、民生費に入ります。

決算書の104ページから107ページ、目9文化センター費をごらんください。

質疑ございませんか。

出口委員。

出口委員 107ページの節の委託料と使用料及び賃貸料で、2件質問します。

委託料で、総合生活相談事業委託料124万8,000円という金額が出ておりますけども、これは大体、何名の職員さんが相談事業に当たるのか、そして、その年間、もしくは月間でもよろしいけども、大体何人ぐらいの相談件数があるのか、そして相談内容はどんなものかをお聞きしたいと思います。

それと、もう1点、節の14の使用料及び賃貸料で、ちょっと私、勉強不足なんですけども、自動体外式除細動器賃貸料とあるんですけど、これはどういうものであって、どのような使用用途があるのかどうか、その辺をお聞きしたいと思います。

小川委員長 はい、この2件について、はい、どうぞ。

松下生涯学習課長 まず、委託料の総合生活相談事業委託料の件でございますが、現在、多奈川事務所に相談員2名、それと淡輪事務所に相談員2名、合計4名で相談を行っているところでございます。

平成28年度の延べ件数でございますが、48件でございます。

内容としまして、福祉、健康に関するものが延べ36件、住宅に関するもの延べ3件、就職就労に関するもの延べ8件、人権に関する相談が延べ1件、合計48件となります。

次に、使用料及び賃借料の中の自動体外式除細動器賃借料の内容でございますが、こちらはAEDのリース料でございまして、こちらが月額5,670円の12カ月ということで、合計7万3,512円ということになります。

小川委員長 出口委員。

出口委員 今のAEDの関係ですけども、耐用年数はどれぐらいあって、今までに何箇所に設置されているか、その辺と実際に使用されたことがあるのかどうか、その辺をお聞きしたいと思います。

小川委員長 松下課長。

松下生涯学習課長 耐用年数でございますが。

小川委員長 出口委員。

出口委員 あのね、耐用年数が、仮に賃貸料であれば、仮にもう業者が3年に一度、新しいのに交換するとか、そういう形であったら結構なんですけども、どの辺。

小川委員長 松下課長。

松下生涯学習課長 失礼しました。5年間のリース契約を行っていきまして、5年程度の耐用年数ということで考えております。設置箇所でございますが、青少年センターの入り口のあたりに、文化センターと共同で使用している関係で、青少年センターの入り口付近に1カ所設置しております。

小川委員長 出口委員。

出口委員 使った件数がわかれば。

小川委員長 松下課長。

松下生涯学習課長 使った件数については、平成28年度はゼロ件でございます。

小川委員長 他にございませんか。

(「なし」の声あり)

小川委員長 これで、質疑を終わります。

続いて、消防費に入ります。

164ページから169ページをござんください。

質疑ございませんか。

副委員長。

竹原副委員長 はい、167ページの中段より少し上、負担金補助及び交付金のところの、やはりこの泉州南消防組合負担金3億2,169万3,602円、これに関して、年々、負担金というのが大きくなってくる。これはほんとに当初計画、説明を受けてたのと、もう全く逆の方向に進んでまして、泉州南で合併することにより効果が生まれ、負担金がどんどんと下がってきて、また出動も広域で行うので、サービスは上昇、負担金は低下みたいな説明を受けながら組合を設立したと思うんですが、これ逆の方向に進みつつあるのではないかと感じるんですけど、その辺、今、担当として、この組合の中で、どのような、この交渉経過を行っているのか、現状、答弁いただきたいと思います。

小川委員長 はい、どうぞ。

川端危機管理担当課長 委員の質問にお答えをさせていただきます。

この泉州南消防組合の負担金の件に関しましては、毎決算、予算委員会等の中でご説明をさせていただいている部分と若干、重複する部分もございますが、平成25年度から運用を開始しま

した泉州南消防組合に関しましては、その運営計画の中で負担金について、設立後、3年から5年をめぐりに負担金の見直しを検討するとされております。

泉州南消防組合を構成する3市3町では、泉州南消防組合関係連絡会議を設置し、検討を行ってまいりました。また、平成28年度からは、充実した消防サービスの提供や効率的な投資、並びに事業運営の仕組みを構築するために、首長みずからが参画する泉州南消防組合あり方会議を設置し、危機管理担当部局と財政部局の部長で構成する幹事会、また同部局の課長で構成する分科会において、諸課題の解決に向けて検討を行ってきたところです。

この分科会や幹事会では、負担割合で採用する指標について検討がなされているところではありますが、この指標が負担割合を大きく左右することになるため、慎重に議論を行っているところであります。

また、今後は、これらの議論とあわせ、泉州南消防組合全体計画に関する事項や、泉州南消防組合人事及び組織に関する事項などを協議する分科会、幹事会なども機能させ、総合的な議論の中で負担割合についても検討していくという方針で議論を進めているところであります。

小川委員長 副委員長。

竹原副委員長 現在、議論を進めていただいているというところでございますけど、どう考えても、ちょっと不思議なところもあります。というのは、泉州南の消防の職員、町内にお住まいの方も多々ある中、泉佐野、熊取へ勤めている、人事の交流と言われたら、それまだなんですけど、わざわざ遠くへ行かなくても、地元へ勤められたいいのと違うんかというのが私の意見でして、地理的な面、やっぱり緊急の場合に駆けつけることもあるやろうし、そういった件で遠くへ通勤してたら、通勤費用も、ものすごくかかってくるのじゃないかなと、そういうようなことも含めて、もっと負担割合というのも、そうなんですけど、かかる費用というのも、その全体をぐっと、こう縮める努力とか、そういうところは、あり方会議とかで町長入られているところで、議論はきちんとされておられるんでしょうか。すみません、お願いします。

小川委員長 町長。

田代町長 ご指摘のとおり、かなり負担割合が上がってきているということは間違いありませんが、それに伴って消防力の強化は、かなり前へ進んでいると思っております。というのは、今まで老朽化した建物、消防車、救急車の入れかえ、整備、そういった物件費等に費用がかかってきたということは、事実であります。

しかし、一番大事なのは3市3町の中で、当初の計画では、条例等については、泉佐野に準じる。そして、職員の給与等については、各消防署の自治体の給与体系でいこうと。そして、5年間の中でしっかり見直していこうということでありました。そこで5年目にきているのかなと思っております。

このことで、私も3市3町の正副管理者会議の中で、かなりきついことを言っております。阪南岬消防組合の時は、デジタル無線の整備は、別として、そのときは2～3億円前後の負担で済んだ。

それが、今は3億2,000万円ほどまで上がってきている。これは広域で、いろんな状況があるわけですから、やむを得ないということはわかるが、本部要員が多いのと違うのか、私が定義をしている中で、今後は、各自治体の財政部局がしっかり入って、そして、お互いに協議をして、もっとスリム化する必要があるのと違うかということを、私は今言っております。

そのためには、しっかりした行革メニューを作り、行財政改革をしっかりやる必要があるということで、先日開催された3市3町の首長で構成する正副管理者会議の中では、行革を進めるということで意見が一致しております。今後は、各担当において、十分、行革メニュー等を協議して、行革を進めて行くこととしております。

一番いいのは、やはり、消防の広域化によって、迅速に、いろんな災害に対応ができるということではないかと私は思っております。ただ、負担割合はずっと上がってきますと、やはり財政力の弱い市町村には、かなりの負担がかかってくるので、お互いに均等の負担でいけるようにということで、泉州南消防組合あり方会議の幹事会等では、案は出ましたが、現行負担割合に高低が出てきている。例えば、案では、岬町は低くなる。また、泉佐野市と熊取町は高くなる。これでは不公平感を生じる為、お互いに均衡を図っていこうということで、行革をまず進めていこうということになっております。

そういった意味で、今後、負担額が高くないように、行革を進める計画としておりますので、もうしばらく時間を頂戴したいと、このように思います。

小川委員長 副委員長。

竹原副委員長 ただいま町長より行革を進めつつ、また、負担金のやりとりも、各市町の割合等々も岬町に不利にならないように取り組んでいただいているということをお聞きました。

常備消防として、泉州南のところで負うところは大きいんですけども、当町には非常備消防もかなり充実したものもあると思いますので、常備にかかる金額が低くなったら、非常備ももっと充実させることができるのじゃないかと思っていますので、ぜひとも現在、頑張っていただいているあり方会議、幹事会、分科会において、いい方向に向かうようお願いしたいと、要望させていただきます。

小川委員長 他にございませんか。

出口委員。

出口委員 3点、ちょっと質問します。

165ページの節11の需用費で食糧費が上がっておりますんやけども、これは備蓄用か、も

しくは非常食かなと私は考えてますけども、その内容とですね。

169ページの節11需用費ですね、これ消耗品費、これも多分380万6,518円というのは、多分、消火剤を購入されたのかなと考えておりますが、そこを多分、世帯数が6,700～6,800世帯あると思うので、それぐらいの数量を買ったのかなと思うんですけども。

それと、18の備品購入費、これは機械器具費として19万1,160円、これはどういうような備品を買われたのか、その辺を教えていただきたいと思います。

小川委員長 川端課長。

川端危機管理担当課長 まず、165ページの食糧費についてですが、この食糧費については、消防団が昨年度参加しましたポンプ車操法訓練での泉南大会、大阪大会でのお弁当等となっております。

169ページの消耗品ですが、これは先ほど委員がおっしゃいました備蓄の費用が、この中で賄われております。

もう1点、169ページの備品購入費、機械器具費につきましては、女性消防団が心肺蘇生講習を行うための人体模型を購入しております。

小川委員長 他にございませんか。

(「なし」の声あり)

小川委員長 これで、消防費の質疑を終わります。

お諮りします。

暫時休憩したいと思います。よろしいですか。

(「はい」の声あり)

小川委員長 再開は、1時から、よろしくお願いします。

(午後 0時00分 休憩)

(午後 1時00分 再開)

小川委員長 休憩前に引き続き、会議を再開いたします。

続いて、教育費に入ります。

168ページから195ページをごらんください。

質疑ございませんか。

坂原委員。

坂原委員 これはもう1点だけお聞きしたいと思います。

191ページの節1の報酬のところ。ここで、スポーツ推進委員報酬として計上されているんですが23万7,600円、これは去年も同額上がっていたように思います。これも、どんな組織で、どんな方が、どういうことをされているのかと、人数は何人いるのかなというこ

と。で不用額が8万6,400円として、不用額で上がっているんですけど、これ調べたら、去年も全く同じ金額で不用額が上がっているんですけど、これは同じ数字だけ不用額で上がっているということ、これもともと要らんのかなと思うんですけど、この辺の理由も説明してください。お願いします。

小川委員長 はい、4点の質問がありました。お願いします。

松下生涯学習課長 スポーツ推進委員に対する報酬でございまして、委員定数が15名に対して、平成28年度は11名の委員で構成されているところでございます。

活動内容なんですけれど、主にスポーツの指導ということで行っておりまして、実技指導を行うということと、みさきファミリーマラソンでのご協力をいただくとか、スポーツの指導に係る研修に参加したりしているところでございます。

予算ですが1名、2万1,600円掛ける11名ということでございまして、23万7,600円ということになっています。

小川委員長 どのような人がっていう質問がありましたので。

松下生涯学習課長 はい。主にスポーツの経験のある方、今、11名構成されていますけれど、皆さん全て若いときにスポーツの指導をされた方から構成されております。

不用額につきましては、この定数15名に対して11名しかございませんので、その4名分が不用額ということになります。

小川委員長 坂原委員の質問で、去年も同じ不用額だったので、去年も同じと解釈していいんですか、もししたら。

松下生涯学習課長 はい。去年も11名でございまして、ただ平成28年度と1名、人員が変更しているところでございます。

小川委員長 ちょっとおかしいけどな。

坂原委員、どうぞ。

坂原委員 今の答弁だったら、去年より1名増えたのに同じ不用額やと言ったら、どうもおかしいでしょうが。

小川委員長 竹下次長。

竹下教育次長 まず、スポーツ推進委員、これちょっと法律の名前、忘れましたが、法律に基づいて委嘱しているというものでございまして、スポーツの経験者や指導者、そういう経験のある方が委員になっていただいています。

言われていますように、当初予算では定数が15人なので15人分を予算化してましたが、実質は11名の委員で構成されたと、その差額が不用額なんですけど、今後、スポーツを推進していきたいということもございまして、できるだけ入っていただいて、活性化に努めていきたいと思っております。

小川委員長 いいの、もう。その答弁で。

坂原委員。

坂原委員 その委員さんの人選というのは、どのようにやっているのでしょうか。

竹下教育次長 実態は、今、入っておられる委員さんのご推薦ですとか、それとか生涯学習課が一本釣りをお願いしたり、実態は、そういうところがございます。

坂原委員 もう1点だけ、ちなみに、そのスポーツ関係の指導ということですけど、年間にどれぐらいの活動があるんでしょうか。

松下生涯学習課長 すみません。もう一度、ご質問お願いします。

坂原委員 1年間に何回ぐらい、その推進委員として活動しているのか。稼働しているのかということですね。

小川委員長 松下課長。

松下生涯学習課長 委員のご質問ですが、年間活動回数なんですけれど、会議が主に1月に1回程度開くこと。あと、研修が、近畿大会の研修が1回と全国大会の研修が2回、研修に関しては、主に2回程度。あと、平成28年度につきましては、高齢福祉課から依頼がありまして、高齢者のスポーツの指導ということを行いました。あと、冬にはみさきファミリーマラソンでのご協力をいただいております。

小川委員長 竹下次長。

竹下教育次長 平成28年度は、先ほどマラソンも言いましたけども、健康長寿まつりで、ノルディックウォークの指導等、それから、普段からも普及なりに努めていると。

最近、なかなかないんですが、以前からニュースポーツと言われる新しいタイプのスポーツ、そういう普及、啓発活動にも努めているというところでございます。

小川委員長 竹下次長、先ほど、坂原委員の質問の中で、不用額が昨年と同様で、今年も同様、不用額が出ているという質問あって、課長のほうで、昨年は11名で、今年1名増えた、という答弁を聞いたと思うんですけども、それだったら、ちょっと数字的に合わないんでね。

松下生涯学習課長 ちょっと私の答え方が、ご理解いただけなくて申しわけありません。

昨年も11名、今年度も11名と、人が1名入れかわったということでございます。

小川委員長 わかりました。

他にございませんか。

出口委員。

出口委員 175ページの節14の使用料及び賃貸料の件ですけども、私もはずかしながら、この学校用地の借地料は、深日小学校は全部公有地であろうと思ってましたんやけども、一部借地があるようですね。ともに孝子小学校も借地があって、これ大体、深日と孝子は、どれぐらいの平米数

の借地があって、その内訳をお聞きしたいのと。

その中で232万5,000円の金額が上がっておって、不用額は1万5,690円という形で算出されていますが、その辺はちょっと説明お願いしたいと思います。

小川委員長 教育長かな、答えてくれるの。

澤学校教育課長 委員の質問にお答えさせていただきます。

深日小学校グラウンドの一部借地になっております。国玉神社さんの敷地が一部入っておりますので、その分の借地をしております。平米数でいきますと376平米となっております。

孝子小学校につきましても、恵光寺さんのお寺の土地をお借りしております。こちらにつきましても、地番でいきますと498番地が750平米、もう一筆ありまして497番地が456平米となっております。

不用額の1万5,690円ですか、それぞれが積み重なったものでございまして、その使用料及び賃借料のうちの学校使用料とか、音楽会参加バス借上料、タクシー借上料、ガス器具リース料とか、その他もろもろ積み上げての1万5,690円となっております。

小川委員長 出口委員。

出口委員 すみません。ということは古い時代から、このもう借地料払っていますんやな。そういう中で町のほうで買い上げるような話はなかったのか。

それとも、その国玉神社もしくは、その孝子のお寺のほうは売らないのか。その辺はどういうような形になっています。

小川委員長 澤課長。

澤学校教育課長 買い上げるとなりますと、当然、測量とか費用もかかってきますし、また、買収費用等も計上しないといけませんので、確かに学校用地ですので、借地ではなくて買い上げた方がいいとは思っておりますけども、まだ、現時点では、とりあえずは借地ということをお願いしているというところでございます。

小川委員長 出口委員。

出口委員 澤課長、何十年も前から借地で借ってはるんでしょう。ということは、もう逆に借地料を払うんであったら、もうちゃんと買い上げたほうが、これから先も安く上がってくると思うんですけども、そういう考え方、今までなかったのかなと思うんです。そういう考え方どうですか。

小川委員長 教育長。

笠間教育長 今さっき孝子小学校の話出ました。孝子小学校の借地につきましても、きっちりした数字ではございませんけども、6分の5が恵光寺さんの敷地となっております。6分の1しか町有地がございません。今、歴史館という形で孝子小学校は使っているんですけども、使わせていただいています。

ただ、恵光寺さんのほうが、今までどおりという形で継続しておりますので、一応、学校自身は学校じゃなくなって、休校からもう一つ上の段階へこなあきませんねんけども、言葉間違うたらだめなので、休校してから、もう24年になります。

それで恵光寺さんのほうも、いうたら現状況で継続したいというようなこともございまして、最近は全然、交渉等は行っておりません。

私、今さっき委員さんから言われました、深日の国玉神社のことは、ちょっと余り知り得てないんですけども、確かに湿地帯とか、いろいろな場所がありますし、ちょうど24年の間には、バブル経済とか、いろんなことがありまして、なかなか購入には至ってないというのが現状でございまして。よろしくお願いします。

小川委員長 出口委員。

出口委員 孝子のほうは、ほとんどがお寺の所有地だということは、よく理解できますんやけども、そのうち深日の小学校は大体110坪ですわな、この計算から言ったら、そしたら、ほんとのどうやろう、10分の1、20分の1ぐらいだと思うんですわ。

その辺も含めて、また、今後そういう国玉神社で交渉の余地があれば、やはり町のほうで買い取っていただくほうが、かえって財政面でもいいのではないかなと思うんですけども、またその辺も、そういう交渉もしていただきたいなと思いますので、これは要望として、はい、すみません。

小川委員長 他にございせんか。

道工委員。

道工委員 1件だけお願いします。

以前にも私、予算のときにもお願いしたんですけども、189ページのアップル館の問題ですけども、指定管理の委託料という形でしか組んでません。

この中で、どのぐらいの図書を買っているのか。これ一個も買わなくても管理料だけもらって、それで済むのかどうかというところ辺を、ちょっと聞かせていただきたい。

それと、ちょっと耳に挟んでいますのは、社会教育委員さんらの話の中では、アップル館の存在の話とか、いろいろ聞いていますけども、どういう今後の考え方も、まあまあ決算審議で、こんな聞くのはおかしいんですけども、大事なことです、ちょっとわかっておれば、お尋ねしたいと思います。

小川委員長 はい、どうぞ。

松下生涯学習課長 アップル館の図書の購入でございますが、年間、約10万円分の図書を購入しているところでございます。

それと、今後の考え方なんです、今年度が、そのアップル館の選定年度に当たりまして、今、

公募を受け付けまして、今度、9月9日に選定委員会を行う予定でございますが、次回、今度また3年後に同じ選定というのがございますが、じっくり場所のことであるとか、運営面でもっと効率よく、また図書の充実ということで、うまくいく方法がないかということで検討中でございます。

小川委員長 道工委員。

道工委員 地域にとっては、いい施設だと思いますけども、これができた経緯というのを、私はちょっと知らないのですが、深日地区のほうで、子どもたちの寄る場所をとということで設立されたとは聞き及んでいますけども、それははっきりわかりません。

ただ、いろいろ指定管理という形だけでいいのかどうか、やっぱり10万円の図書しか買っていないというところ辺は、前にも府の図書を借りたりとか、いろいろ淡輪公民館の図書を借りて持ってきているとか、いろいろ聞いていますけども、やっぱり使っている子どもたちの声を聞くと、もっといろんな本が欲しい、こういう声も聞いています。ですから、行く行くは、やっぱり深日小学校の中で、こういった図書室を作るとか、何かもうちょっと規模的なことも含めて、学校図書と併用しながらやっていくことも一つの方法と違うのかなという思いもしています。

これ意見だけにとどめておきますけど、以上です。結構です。

小川委員長 竹原副委員長。

竹原副委員長 2点ほどすみません。

181ページです。一番上と一番下に工事請負費ということで、耐震化工事の決算が上がってきております。計画では、町内の小中幼稚園に関しまして、全て耐震化が済んだという認識でよろしかったんでしょうか。その点が1点です。

それともう1点あります。ちょっと待ってくださいよ。

まず、それを答弁お願いします。

小川委員長 澤課長。

澤学校教育課長 委員のご質問にお答えさせていただきます。

構造部材の耐震につきましては、平成27年度で完了しております。平成28年度からは、非構造部材のほうの耐震化工事に入っておりまして、昨年度は淡輪・深日小学校の天井張りの補強、中学校につきましてはラーニングセンター、多目的ホールの吊り天井の撤去ということで実施しております。

小川委員長 副委員長。

竹原副委員長 そしたら、今年度も非構造部材に関しましては、引き続きされていると、まだ計画が残っているということでしょう。

小川委員長 澤課長。

澤学校教育課長 平成29年度につきましても、引き続き非構造部材の耐震化工事に入っておりまして、壁についていますバスケットゴールは、地震が起りますと落下して危ないということで、補強工事を実施することにしております。

小川委員長 副委員長。

竹原副委員長 以上、了解しました。

そして次が189ページ、これは淡輪公民館のところの14使用料及び賃借料、その一番下の空調設備機器リース料、これが先ほど、本年度の補正予算にも出ていた、補正予算に出てないな。

その話にありました、平成33年までのリース料というのが、これかなと思うんです。金額を見ると、かなり高額なリース料、これは毎年見させていただいているんですけども、先ほどの答弁の中で、教育長の考え方として、空調料をリースで残っているから、まだまだ公民館を使わなあかんのだというような、そういうように聞こえてしましまして、そうではなしに、やはり危険な建物があれば、このリース料というのはちょっと二の次の話でして、やはりあり方というのも含めて、もうリース料が残っているから、その間までは何とか使わなあかんっていうような考えよりも、その使い方が、もうある程度、どういうように使っていただいて、ある程度、公民館機能を分けるなり、公民館機能をよそに行くなり、そういうように分けていただいとしないと、この金額があと3年分、700万円かわかりませんが、残っているか、残らんとあかんのやというのでは、どうかなと思うんですけど、そうではないと言うのかどうか、もう一度確認させてもらいたいと思うんですけど、教育長、いかがですか。

小川委員長 教育長。

笠間教育長 先ほどの私の発言のニュアンスが、そういうように聞こえたのかもわかりません。しかし、淡輪公民館の継続につきましても、一番中心になっているのは、クラブ協議会がございます。そこが、現状であっても、まあいろいろと補修しながら、使っていきたいという思いでございます。

ですから、今回の補正予算にもトイレの改修とかいうようなことを載せさせていただいています。ただ、委員の言われるように、これがあるから使うのじゃないんですけども、一応、この平成33年度はめどやと捉えていただいて、現実には何億もかかる新しい施設や、また用地やら、また別の施設やらというのは、なかなか現状では難しいというお答えをさせていただくほかないかなと思いますので、よろしくお願ひしたいと思ひます。

小川委員長 副委員長。

竹原副委員長 このリース料というのは、もう建物を使わなくて、このエアコンを使わなくなったとしても、リース料というのは平成33年まで残っているものなんですか。

その点、1点お願ひします。

小川委員長 竹下次長。

竹下教育次長 使う、使わずにかかわらず、必要になってくると。

先ほど、教育長が申しましたのは、途中で解約しますと違約金が発生します。大体、このリース料、平成33年度までぐらいの違約金が発生します。そういうこともございますので、なかなか平成33年ぐらいまでという発言になったとご理解ください。

小川委員長 出口委員。

出口委員 ちょっと1点だけ、確認させてもらいます。

先ほど、文化センター費の中で、自動体外式除細動器賃貸料、これはAEDですね。これのリースの値段が7万3,512円あって、今回、この191ページの節14使用料及び賃貸料で、同じく生涯学習課では同じ品物が、単価が違うんですね。これはどういう形かな、5万4,816円で上がっているんやけども、メーカーが違うのか、その辺がどうかな、ちょっと確認だけ。

小川委員長 はい、どなたか。

松下生涯学習課長 単価が異なる原因とございますのは、AEDの文化センターにつけましたものに、すみません、生涯学習課、1階につけています。先ほどの文化センター予算でつけている分につきましては、ケースの価格も入っておりまして、その分、若干高くなっているかと思われます。

すみません。委員、もう一度、この191ページのどちらの箇所の部分を。

小川委員長 出口委員。

出口委員 191ページの14使用料及び賃借料の生涯学習課ところでございます。

小川委員長 松下課長。

松下生涯学習課長 こちらの5万4,816円ということですよ。

先ほどの説明のとおり、生涯学習課1階に備えつけの分につきましては、ケースごと全く新しいものになりますので、その分、単価が高くなっているところでございます。

出口委員 生涯学習課のほうが安いんですよ。

小川委員長 竹下次長。

竹下教育次長 メーカー等については、また、ちょっと確認させてもらって、報告させていただこうと思いますけども、やはりその機種、それから借り入れる時期によっても、これ変わってくると思っていますので、その辺での差異だと思っております。

出口委員 今、上手に逃げたけどな。けども、やはり同じ商品、物であった、物体であったら、やはりこれだけ行政も財政逼迫する中でやね。多分、どちらも一緒やと思うんですね。それでやったら安いほうが、これはここの2カ所だけじゃないでしょう。ほかにも消防署にもあれば、いろんなところにあるんでね、それをやっぱり合計、仮に20個あったらですな、金額えらいかわってきますわな、その辺も調べていただいて、また対応してもらいたいと思います。

小川委員長 はい、どうぞ。

松下生涯学習課長 ちょっと私の説明がまずかったので、もう一度説明させていただきますと。

先ほどの文化センターの予算でつけている分につきましては、保存ケースもつけている関係で高くなっているということでございまして、そういうことで単価が高くなっているところでございます。

小川委員長 出口委員もよろしいか。

そしたら、先ほどの答弁の逆で、文化センターのほうがケースついているから単価が高い、青少年のほうはケースがないから単価が安いから差額が出ているという答弁でよろしいか。

松下生涯学習課長 はい、そのとおりでございます。

小川委員長 出口委員、それでよろしいか。

出口委員 そしたら、そのケースがついたのと、ついていないのと、何のその必要性が変わってくるんですか、必要性。

あんまり時間を無駄に使いたくないので、その辺も一つまた、できる限り財政の圧迫が少ないようですので、やっぱり上手に利用していただいて実施していただきたいと思いますので、よろしくお願いします。

小川委員長 副委員長。

竹原副委員長 ごめんなさい、関連でね、どこについているかだけね。どっちの、この予算の物はここ、この予算の物はどこっていうのだけ、もう一度言ってもらったら、金額は差異があるとは思いますが、それだけお願いしたいなと思います。

小川委員長 それは答弁できますか。

松下生涯学習課長 文化センターの予算でAEDをつけている箇所につきましては、青少年センター1階、生涯学習課の前につけているものでございます。保健体育費のAEDの分につきましては、町民体育館の分でございます。

小川委員長 はい、他にございませんか。

(「なし」の声あり)

小川委員長 ないようですので、これで質疑を終わります。

続いて、公債費に入ります。

194ページから197ページをごらんください。

質疑ございませんか。

(「なし」の声あり)

小川委員長 ないようですので、質疑なしと認めます。

これで、公債費の質疑を終わります。

続いて、諸支出金に入ります。

196ページ、197ページをごらんください。

目4海釣り公園管理基金費は、他の委員会の所管です。

質疑ございませんか。

(「なし」の声あり)

小川委員長 質疑なしと認めます。

これで、諸支出金の質疑を終わります。

続いて、予備費に入ります。

196ページから199ページをごらんください。

質疑ございませんか。

(「なし」の声あり)

小川委員長 質疑なしと認めます。

これで、予備費の質疑を終わります。

以上で、一般会計歳出の質疑を終了いたします。

続いて、討論を行います。

討論ございませんか。

(「なし」の声あり)

小川委員長 討論なしと認めます。

続いて、採決を行います。

認定第1号、本委員会に付託された案件は、原案のとおり認定することに賛成の方の挙手を求めます。

(挙手全員)

小川委員長 満場一致でございます。

よって、本委員会に付託された案件は、認定することに決定しました。

認定第8号「平成28年度岬町淡輪財産区特別会計決算認定の件」から、認定第10号「平成28年度岬町多奈川財産区特別会計決算の認定の件」までの3件を一括議題としたいと思います。

これでよろしいですか。

(「異議なし」の声あり)

小川委員長 異議なしと認めます。

それでは、認定第8号から認定第10号の3件について、一括議題とします。

本会議場で説明を受けておりますので、理事者の説明を省略したいと思います。よろしいですか。

(「異議なし」の声あり)

小川委員長 決算書317ページから356ページをござんください。

質疑ございませんか。

(「なし」の声あり)

小川委員長 質疑なしと認めます。

これで3件についての質疑を終わります。

続いて、認定第8号「平成28年度岬町淡輪財産区特別会計の決算認定の件」について、討論を行います。

討論ございませんか。

(「なし」の声あり)

小川委員長 討論なしと認めます。

これで討論を終わります。

続いて、採決を行います。

認定第8号の件について、原案のとおり認定することに賛成の方の挙手を求めます。

(挙手全員)

小川委員長 満場一致でございます。

認定第8号は、本委員会において認定することに決定しました。

続いて、認定第9号「平成28年度岬町深日財産区特別会計決算認定の件」について、討論を行います。

討論ございませんか。

(「なし」の声あり)

小川委員長 討論なしと認めます。

続いて、採決を行います。

認定第9号の件について、原案のとおり認定することに賛成の方の挙手を求めます。

(挙手全員)

小川委員長 満場一致でございます。

認定第9号は、本委員会において認定することに決定いたしました。

続いて、認定第10号「平成28年度岬町多奈川財産区特別会計決算認定の件」について、討論を行います。

討論ございませんか。

(「なし」の声あり)

小川委員長 討論なしと認めます。

これで討論を終わります。

続いて、採決を行います。

認定第10号の件について、原案のとおり認定することに賛成の方の挙手をお願いいたします。

(挙手全員)

小川委員長 満場一致でございます。

よって、認定第10号は、本委員会において認定することに決定しました。

以上で、本委員会に付託を受けました案件9件については、全て議了いたしました。

本日の審議経過並びに結果については、本会議において委員長報告を行いますので、委員の皆様方のご協力をお願いします。

これで、総務文教委員会を閉会いたします。

(午後1時37分 閉会)

以上の記録が本町議会第3回定例会付託委員会の会議のてんまつに相違ないことを記するため、ここに署名する。

平成29年8月31日

岬町議会

委員長 小 川 日 出 夫